

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

| 提案書 | |
|--|--------------------|
| 技術分野 | ①汚染水貯蔵 |
| 提案件名 | 地下貯水槽とタンクを組み合わせた運用 |
| 提案者 | 公益社団法人 土木学会 |
| <p>1. 技術等の概要</p> <p>地下貯水槽を改良して再度利用し、タンクと組み合わせた運用を行うことで、貯水タンクのリプレース・基礎の機能向上・タンクの耐震対策等に要する期間の短縮を図るものである。</p> <p>また当面の間は貯水タンクによる貯留が継続的に行われることから、仮貯留する施設として地下貯水槽を再稼働させることで、タンクの維持管理も現状より容易となるのではと考えられる。</p> <p>なお、移送ルートについては、ベントナイト等による遮水対策を行ったトレンチ内に管路を収納するなど、移送中の漏水を想定し、事前に対策を行う。</p> | |
| <pre> graph TD A[タンク仮対策 (屋根・堰・雨樋)] --> B[汚染水移送] C[地下貯水槽の改良] --> D[タンク内汚染水の 仮貯留] B --> D B --> E[基礎工の改良 転倒対策強化 滑動対策 リプレース] E --> F[再貯留] D --> G[汚染水移送] G --> F F --> H[ALPS 等による処理] G --> I[タンク側の対策が済 んだら長期貯留運用] I --> H </pre> | |
| <p>2. 備考</p> <p>個別要素については、「貯水タンクの遮水性基礎工」「撤退した既設地下貯水槽の改良工」「汚染水排水管路の簡易地中埋設」を参照されたい。</p> | |